

〈特集1〉 あいちの教育ビジョン2025

— 第四次愛知県教育振興基本計画 —

1 「あいちの教育ビジョン2025」の概要

(1) 「基本理念」に込められた願い

「あいちの教育ビジョン2025」は、本県の第四次教育振興基本計画（計画期間：2021～2025年度）です。時代の状況や社会の変化に伴う、新たな課題や求められる資質・能力等を見据えて本県教育の方向性を示しており、その「基本理念」は、あいちの教育に関わる全ての人たちが共有し、これからのあいちの教育をつくっていくための共通の指針となるものです。

基本理念

「自らを高めること」と「社会の担い手となること」を基本とし、 →①

ふるさとあいちの文化・風土に誇りをもち、世界的視野で主体的に深く学び、 →②

かけがえのない生命や自分らしさ、多様な人々の存在を尊重する豊かな人間性と →③

「知・徳・体」にわたる生きる力を育む、あいちの教育を進めます。 →④

- ① 子供たちが、自らのよさや可能性を伸ばし、自己実現を目指すとともに、社会を担う主体となることで、社会をよりよいものにし、豊かな人生を送ることを目指しています。
- ② 子供たちの、自らのよりどころとなるふるさとを大切にする心や、広い視野で物事を多面的に捉える見方や考え方、よりよく課題を解決できる力を育てます。
- ③ 子供たちの、自他の生命を大切にする思いやりの心や、自らを律しつつも自らのよさを発揮できる力、多様な人々の存在を、それぞれ一人の人間、同じ仲間として尊重する態度を育てます。
- ④ 子供たちが、「知・徳・体」の調和のとれた生きる力を身に付けられるよう、取り組みます。

(2) 「基本的な取組の方向」と「取組の柱」

「基本理念」を実現するため、1～7の「基本的な取組の方向」を設定しています。今回のビジョンでは、激甚化・頻発化する災害や新型コロナウイルス感染症の拡大等を反映して、「7大規模災害や感染症拡大等の緊急時においても、子供たちが安心・安全に学べることを保障します」を加えています。

また、「基本的な取組の方向」を具体化するため、①～⑩の「取組の柱」を設定しています。

「基本的な取組の方向」と「取組の柱」

1 自ら学びに向かう教育を充実させ、自己の可能性を伸ばす力を育みます

- ① 主体的・対話的で深い学びの推進ときめ細かな指導の充実
- ② 情報活用能力の育成とICT活用教育の推進
- ③ SDGsの理念を踏まえた教育の推進
- ④ 多様な学びを保障する学校・仕組みづくり
- ⑤ 理数教育の推進
- ⑥ 特別支援教育の充実
- ⑦ 幼児教育の充実
- ⑧ 私立学校の振興
- ⑨ 大学等高等教育の振興

- 2 人としての在り方・生き方を考える教育を充実させ、実践力を伴った道徳性・社会性を育みます
- ⑩ 人権教育・多様性理解の推進 ⑪ 道徳教育の充実 ⑫ いじめへの対応の充実
⑬ 不登校児童生徒への対応の充実 ⑭ 主権者教育等の推進
- 3 健やかな体と心を育む教育を充実させ、生涯にわたって、たくましく生きる力を育みます
- ⑮ 生涯学習の推進 ⑯ 家庭教育・子育て支援、子供の貧困対策の充実
⑰ 学校体育・生涯スポーツの充実 ⑱ 健康教育・食育の推進
- 4 ふるさとの魅力やあいちの伝統・文化に学びつつ、技術の進歩に取り組み、社会の発展を支える人を育みます
- ⑲ ふるさと教育の推進と新たな文化の創造
⑳ 社会の担い手の育成に向けたキャリア教育の推進 ㉑ 産業を支える人材の育成
- 5 世界とつながり、生き生きと活躍するために必要な力を育みます
- ㉒ グローバル社会への対応の推進 ㉓ 外国語教育の充実
㉔ 日本語指導が必要な児童生徒等への支援の充実
- 6 子供の意欲を高め、教師の働きがいがある魅力的な教育環境づくりを進めます
- ㉕ 学校における働き方改革 ㉖ 開かれた学校づくりと学校への支援
㉗ 教員の人材確保と資質向上の推進 ㉘ 学校施設・設備の充実
- 7 大規模災害や感染症拡大等の緊急時においても、子供たちが安心・安全に学べることを保障します
- ㉙ 大規模災害や感染症拡大等の緊急時における学びの保障 ㉚ 学校安全・防災教育の推進

2 「あいちの教育ビジョン2025」を教育活動に生かすために

Q 「あいちの教育ビジョン2025」と、各市町村の教育振興基本計画や各学校において作成する計画等とは、どのような関係になっていますか。

A 本ビジョンは、本県教育の方向性について、国の教育振興基本計画を参酌し、県全体を大きく捉えて策定しています。そのため、どの市町村や学校においても大切にしなければならない考え方や視点、取組の方向性等が網羅されています。各市町村の教育振興基本計画や各学校において作成する計画等を策定・改定する際には、地域や学校の実情をもとに、本ビジョンの理念や方向性を生かしていくことが望まれます。

Q 学級担任ですが、「あいちの教育ビジョン2025」は、どんなときに役立ちますか。

A 例えば、学級経営案を作るとき、まず、子供たちの姿から学級の状況を捉え、学習面、生活面等を分析して、「この子たちの、こんな資質・能力を育てよう」と、教育目標を定めると思います。続いて、「どんな手だてで」と、目標を具体化する方策を考えることでしょう。

こうしたとき、学級の教育目標と本ビジョンの「基本理念」「基本的な取組の方向」とを見比べることで、目標が、今、求められている教育に合致しているかどうかを確認できます。

また、教育目標を具体化する方策を考えるときには、「取組の柱」を参考にすることで、重視したい教育課題や、教育活動を捉える視点等をつかむことができます。

このように、教育活動の方向性を確認したいときや、さらに広い視野から教育活動を見直したいときに、ぜひ本ビジョンを手にとってほしいと思います。

「あいちの教育ビジョン2025」のダウンロードはこちらから [あいちの教育ビジョン2025](https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kyoiku-kikaku/20210212.html) **検索**
URL <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kyoiku-kikaku/20210212.html>